日本共産党

○●山本博己（やまもと ひろみ）　永井桃（ながい もも）　人見哲哉（ひとみ てつや）

バス廃止に伴う市民の足の確保は

影響を最小限に抑えるよう協議する

＼つぶやき／
バス廃止は市民に情報を知らせ、ともに考えていく姿勢が必要だ

やまもと　ひろみ
山本 博己 議員

Q 中央バスが廃止を申し入れたのは1月であるが議会に報告したのは7月なのはなぜか。

A 廃止時期が決定しておらず、代替策の方向性が見いだせていない段階であったため、一定の方向性を得たタイミングで公表した。

Q 広島線の活用と他のバス会社による補完運行で、今までどおりに市民の足を確保できるのか。

A 影響を最小限に抑えるよう協議を進める。

Q 早急に市民説明会を開催するべきでは。

A 経過と今後の方向性について説明会を開催する。

Q 公共交通の在り方について検討を行うべきでは。

A 地域住民の移動手段を確保する持続可能な公共交通の再構築を中短期の取組として検討する。

Q 最低いつまでに解決策を定めるのか。

A おおむね年内には構築する必要がある。

廃止が予定されている市内の路線バス

教育・子ども政策について

Q 学校給食の無償化を行う方向で検討するのか。

A 国の動向をしっかりと注視していく。

Q 公共施設のエアコンの整備は熱中症を予防するには不十分と考えるが、今後の整備方針は。

A 各施設に応じた方法を調査・研究していく。

Q 来年の夏には、小・中学校へのエアコンの配置を全ての学校・教室に整備するべきでは。

A 実施設計を来年11月頃までに終え、早期のエアコン設置に向けて取り組んでいく。

Q 教育支援センターは、学校に行けない子どもに学習環境を提供するため、建て替えるべきでは。

A 早期に総合的な検討を進めていく。

読書活動について

Q 2校で1名の学校司書では図書館の開館時間も短いため、全校に配置すべきではないか。

A 現行の巡回体制を継続しつつ、必要な資料の充実や環境整備などに努める。

外国人への対応について

Q 外国人差別などの根拠のない言説は問題だ。国のデータで知識を得てもらうことができるのでは。

A 国などの関係機関が発信する情報の周知方法について検討を進めていく。

まちづくりについて

Q Fビレッジの高さ制限を撤廃しタワーマンションの建設を認めることは、周辺の緑地帯との景観にマイナスとなる。高さ制限の撤廃をやめるべきでは。

A Fビレッジ周辺の土地の高度利用のため、高さ制限を緩和する都市計画の変更告示を行った。

Q 制限の撤廃でいくらでも建てられるのでは。

A 計画以外の高層建築物の建設予定はない。

建築予定のタワーマンション